



地域学校協働活動だより

令和5年12月8日発行 福島県教育庁県北教育事務所

地域の人とのかかわりから学ぶ

訪問日：令和5年11月28日（火）

場 所：福島市立大笹生小学校

内 容：第1学年～第6学年「ふれあい体験活動」

講師は学習センターで活躍している地域の方々です。



大笹生小学校は、「地域や人とかかわりで学ぶ」ことを大切にしています。「ふれあい体験活動」は、主に信陵学習センターで活躍している様々な分野の専門の方から普段の授業では体験できないことを教えてもらうことで、個性を伸ばしたり、感性を高めたりすることをねらいとして毎年行っているそうです。

訪問した日は、全校生が、折り紙や絵手紙など様々な活動に取り組みました。活動の最中、講師の先生が子どもたちにたくさんの励ましの言葉をかける姿がとても印象に残りました。子どもたちは、褒められて喜んだり、話をよく聞いて真剣に考えたりして一生懸命活動に取り組んでいました。



心が伝わるから大丈夫！

すごいね！上手だね！



1年生 折り紙



2年生 絵手紙

上手にかこうと思わなくていいんだよ。

きれいにできたね！



3年生 切り絵

地域や人とかかわりで学ぶ



君たちは一番うまい！



6年生 ユニカール

どれをとったらいいかな。



5年生 将棋

なぜこうなったでしょう。



4年生 手品

講師の先生の話をよく聞き

真剣に考える子どもたち

地域学校協働活動を通じて子どもたちが信頼できる大人と多くの関わりをもち、愛情を注がれることにより、**自己肯定感**や**他人を思いやる心**など、豊かな心が育まれることが期待できます。また、地域の人々に支えられ学んでいくことで、**地域への愛着**や**地域の担い手としての自覚**が生まれ、学びへの意識の向上が**学力の向上**に資することも期待されます。

地域の方々にたくさんの温かい言葉を掛けられ、子どもたちも充実した時間となったようでした。